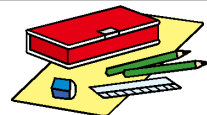


絹中学区小中一貫校についてのお知らせ



平成28年1月 第5号

小中一貫校（絹中学区）推進委員会

●平成27年度 第3回推進委員会の結果概要

平成27年度第3回目の会議が、10月20日（火）に絹公民館で開催されました。今回は延島小学校と梁小学校から、スクールバス停留所に関する要望や意見等の発表がありました。

また、絹中学区小中一貫校開校までのスケジュールの確認や、絹中学区を代表して福良小学校から、絹中学区で取り組んでいる小中一貫教育の発表がありました。福良小学校からの発表内容については3ページに記載しましたのでご覧ください。



【平成27年度 第3回推進委員会で出た主な意見や質問等】

- ① スクールバス停留所には雨風除けを設置してほしい。
→ 土地確保等の観点から全ての停留所に設置するのは難しいと思われる。しかし、バス停とする土地の条件や状況、学校側のご意見等を伺いながら判断していきたい。
- ② スクールバスは大人も添乗してほしい。
→ 中高学年を交えた地域の登校班のような形態で、まとめてバス停まで来てもらい、子どもたちだけで乗車してもらうことを想定している。
- ③ なぜ、統合後は萱橋小学校の給食調理場を利用するのか。
→ 3校統合となれば、現在給食調理場のある梁小には人がいなくなるため、栄養士や給食調理員だけが梁小に配置されると様々な問題が生じてくる。また、現在福良小学校には給食調理場がないため、新たに整備するには、多額の財源が必要となる。
そのため、財政面や運搬距離、現有施設の活用の観点から、萱橋小学校の調理場を改修し、使用することを基本として総合的に検討しています。
- ④ 梁小の学童保育は現在の1部屋に1年生～6年生の子どもたちが入ることとなるため、人数的に現在よりも増えることが考えられる。そのため、子どもたちの安全には配慮してほしい。
→ 現在、学童保育クラブは概ね40名を定員として運営している。年齢が違えば子どもたちの遊びも異なってくるため、その点についても十分配慮して運営していきたい。
- ⑤ 梁小、福良小、延島小の各学校に学童保育をつくってはどうか。梁小学校1つにまとめなければならない決まりがあるのか。
→ 学童保育クラブは10名以上の月額登録児童が必要であるため、現在の利用状況から各小学校につくことは困難である。また、のびしま幼稚園の認定こども園移行等を考慮し、統合後は、学童保育専用施設である梁小学童保育館を活用していきたい。利用者が多くなってきた場合に、利用状況を確認しながら新たな学童保育施設の整備を検討していきたいと考えている。

※ 次回の委員会は2月中の開催を予定しております。



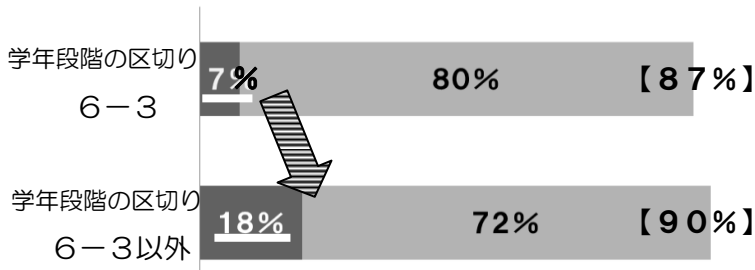
● **小中一貫教育の成果と課題【第2回(全3回に分けて紹介します)】** 文部科学省の調査結果より

小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校に対し、平成26年5月に文部科学省がおこなった小中一貫教育の実態調査では、以下のような結果がみられました。皆様には、全3回に渡り、小中一貫教育の成果と課題についてお知らせいたします。今回は第2回目です。

小中一貫教育における成果

「学年段階の区切り」と「小中一貫教育の成果」

■ 大きな成果が認められる ■ 成果が認められる

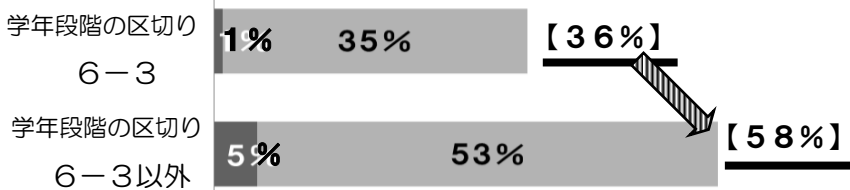


従来の6-3という学年段階の区切りよりも、6-3以外の学年段階の区切りを設けているほうが、成果が上がることがわかります。具体的な成果については以下グラフをご覧ください。



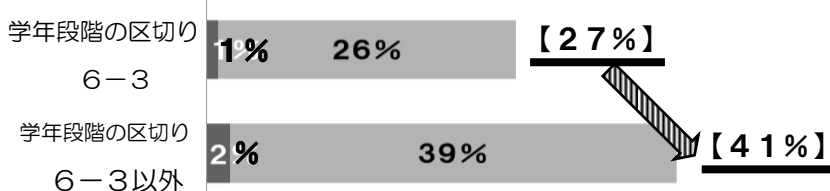
学力・体力の向上

① **全国学力・学習状況調査の結果が向上した！**



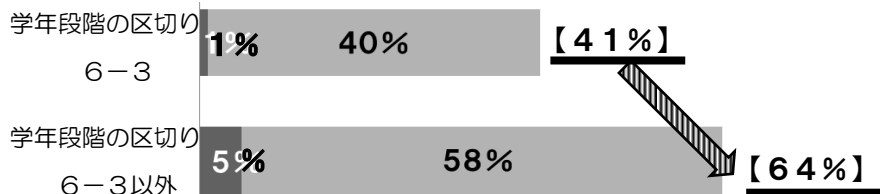
全国学力・学習状況調査の結果や、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上したかという問では、「向上した」と答えた割合は、学年段階の区切りが6-3である場合よりも、それ以外の区切りを設けている学校の方が高い割合となっています。

② **全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した！**



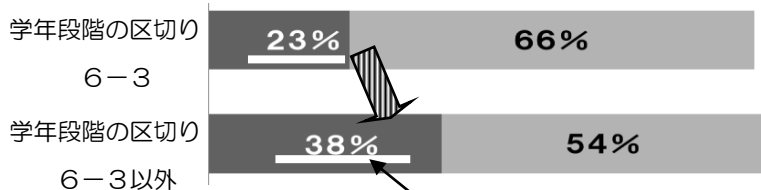
学習意欲の向上

③ **勉強が好きと答える児童生徒が増えた！**



児童生徒の意欲向上という面においては、学年段階の区切りが6-3以外である方が、勉強が好きと答える児童生徒の割合の向上や中学校進学への不安減少という面において効果があることがわかります。

④ **中学校への進学に不安を感じる児童が減少した！**



全体の差は小さいものの、大きな成果が認められると答えた児童が特に増えました。

絹中学区 平成27年度の小中一貫教育における取り組み

平成27年度 重点目標



- ① 主体的に学ぶ態度を育てる。
- ② コミュニケーション能力をはぐくむ。
- ③ 基礎的な知識及び技能の習得



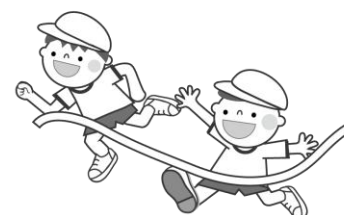
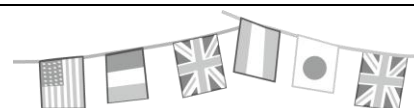
重点目標を基にした平成27年度キーワード

「つなぐ」「そろえる」

視 点	主な取組	主な工夫・手立て
9年間を見通した カリキュラムを編成する	① 校時表の工夫 ② 各部会における研究	① 小学校の日課表統一 ② 指導方法の共有化 ・目当ての明確化と振り返りの実践 ・テーマに沿った単元の洗い出しと指導の重点化
各種調査結果の分析、活用	③ 新体力テストの分析 ④ とちぎっ子学習状況調査 ⑤ 全国学力学習状況調査テスト 結果分析の活用	③ 体力作りタイムの共通設定 ・弱点補強のための補助運動の開発 ④ 学びのスタイル改善のための研修 ⑤ 学力向上アドバイザーの活用
教職員の意識をつなぐ	⑥ 学びのスタイルの小中共通実践	⑥ 相互参観授業及び小中合同研修 (年6回) ・出前授業
児童生徒の心をつなぐ	⑦ 行事での交流 ⑧ 異学年交流	⑦ 運動会での中学生係協力 小中合同防災教育 ⑧ 小学校3校合同学習 (校外学習、宿泊学習、修学旅行等)
家庭・地域社会との 連携を深める	⑨ 家庭学習意欲の向上 ⑩ 地域教育力の活用 ⑪ 生活習慣の確立 ⑫ 保護者への啓発	⑨ 家庭学習ノートの使い方の統一 ⑩ おこさま運動(あいさつ) ⑪ ノーテレビ、ノーゲームデー ⑫ 各種便りの発行

★ 小中交流活動

- (1) 小学6年生の中学校授業体験・部活体験(夏季休業中)
- (2) 小学校運動会における中学生の手伝い
- (3) 小中合同防災学習
- (4) 中学生職場体験「まいちゃれんじ」実習



今後の児童数見込の推移

《H27.5.1現在》

福良小	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数計	学級数計
27年度	9	8	12	15	12	10	66	6
28年度	9	9	8	12	15	12	65	6
29年度	10	9	9	8	12	15	63	6
30年度	12	10	9	9	8	12	60	6
31年度	8	12	10	9	9	8	56	6
32年度	14	8	12	10	9	9	62	6
33年度	8	14	8	12	10	9	61	6

の部分については「複式学級※」となる見込みです。

梁小	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数計	学級数計
27年度	12	12	8	12	14	7	65	6
28年度	9	12	12	8	12	14	67	6
29年度	12	9	12	12	8	12	65	6
30年度	15	12	9	12	12	8	68	6
31年度	8	15	12	9	12	12	68	6
32年度	7	8	15	12	9	12	63	6
33年度	8	7	8	15	12	9	59	6

※複式学級とは
一定の人数に満たない場合に2つの学年で1学級になります。これを複式学級と呼びます。小学校と中学校で基準が異なります。

小学校
児童数が2つの学年で16人以下の場合（1年生を含む場合は8人以下）

中学校
生徒数が2つの学年で8人以下の場合
「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」による

延島小	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数計	学級数計
27年度	7	9	11	8	13	7	55	6
28年度	11	7	9	11	8	13	59	6
29年度	4	11	7	9	11	8	50	6
30年度	9	4	11	7	9	11	51	6
31年度	6	9	4	11	7	9	46	6
32年度	3	6	9	4	11	7	40	6
33年度	6	3	6	9	4	11	39	6



3校統合	1年	学級数	2年	学級数	3年	学級数	4年	学級数	5年	学級数	6年	学級数	児童数計	学級数 特別支援除く
27年度	28	1	29	1	31	1	35	1	39	1	24	1	186	6
28年度	29	1	28	1	29	1	31	1	35	1	39	1	191	6
29年度	26	1	29	1	28	1	29	1	31	1	35	1	178	6
30年度	36	2	26	1	29	1	28	1	29	1	31	1	179	7
31年度	22	1	36	2	26	1	29	1	28	1	29	1	170	7
32年度	24	1	22	1	36	1	26	1	29	1	28	1	165	6
33年度	22	1	24	1	22	1	36	1	26	1	29	1	159	6

国の編成基準では、1年生は1学級35人以下、県の基準では、2年生は1学級35人以下、3～6年生は1学級40人以下となっています。